

九町小・伊方小学校再編計画

再編準備委員会設置のための町見地域説明会

○日時： 令和6年8月5日（月）19：00

○場所： 町見公民館

○対象： 町見地域区長、副区長、参加を希望される住民

前年度に伊方町学校再編計画（第二次）について地区説明会を行い、意見をいただいている。本会は、計画に基づいた九町小・伊方小学校再編のための合同再編準備委員会の説明を行うものであり、対象を地域の区長・副区長の皆様を中心とした。

○主催者側出席者： 教育長、教育委員、事務局

○次第

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 伊方町学校再編計画（第二次）説明
- 4 再編準備委員会設置に関する説明
- 5 質疑応答、意見交換
- 6 閉会

○説明内容

事務局より、伊方町学校再編計画（第二次）の概要説明を行った後、今回の説明会の主旨は、計画に沿って再編準備委員会を立ち上げる事についての、理解を得るためのものであることを説明し、質疑応答、意見聴取を行った。

○主な質問、意見等と教育委員会の考え方

（学校再編に関連する質問や意見以外のものについては、掲載していません）

（参加者）

昨年実施した地区説明会の参加者が少なかった。十分な周知ができていないのではないかと。

（町教委）

マイク放送、町広報誌、区長様への文書でのお願い等、かなりの周知を行っております。

（参加者）

昨年の説明会での通学路の街灯の設置やスクールバス等の意見や要望はどうなったか。

（町教委）

街灯が無いとのことでしたが現地を確認し、要所に適切に設置されていました。そういうご意見があった事は建設課に伝えております。スクールバスについては必要な適切な便数を確保いたします。このような内容につきまして、合同準備委員会立ち上がってから検討いたします。

（参加者）

この統合は対等統合か、吸収統合か。対等なら校歌等も変わるのではないかと。

（町教委）

伊方小学校の過去の統合の事例を考えると対等のような形にはならないと考えております。所在地や学校名は変わらないと考えております。校歌や校章、校訓については、合同準備委員会ですり合わせを行って、改めるところがあれば双方の合意を得て改めるという考えでおります。

(参加者)

統合までに2年間あるが、2年間も何の話し合いをするのか。

(町教委)

細部までの合意を考えると話し合いに時間がかかります。また、記念誌の作成やPTAの規約等のすり合わせ等も必要ですし、制服や校歌をどうするのか等もまだ決まっています。まず、子や保護者、地域の皆さんの心の準備。やることはたくさんあります。

(参加者)

合同準備委員会の構成をどう考えているのか。

(町教委)

各小学校で準備委員会を設置していただきたいと思います。その構成は各学校で考えていただいて構いません。合同準備委員会については、過去の例から、区長代表、PTA会長、副会長、校長、教頭、教育委員となっております。これに準じて組織作りを行いたいと思います。

(町教委)

配布している同意書用紙は統合に向けての準備委員会を立ち上げることへの同意書であり、両校の統合に同意するというものではありません。合同準備委員会を進めて合意が得られたら、最終的に各地区から統合の承諾をいただくということになります。

(参加者)

小学校もいずれ一つになるのか。三崎小の全児童数が一桁になっても存続するのか。以前、佐田岬小ができたが9年で統合になり、地域の人も困惑したのではないかと思う。少子化が進んでいるので、ある程度、見越した計画を建てるべきだと思う。私見だが、いずれ中学校が一つになるのなら、瀬戸中学校でいいのではないかと思う。

(町教委)

再編検討委員会での検討において、伊方、瀬戸、三崎に1校ずつという意見もありましたが、将来的な事を考えた時に、伊方と三崎に小学校を1校ずつということになりました。伊方町の地形上、通学時間を考えると、三崎地域から伊方小学校に通うのに1時間以上かかる子どもができますが、それは無理と考えます。今後、小学校2校の存続について力を入れていきたいと考えております。

中学校については、再編計画の中で、将来1校にする事を令和10年度以降に検討するよう記載しており、その学校をどこに置くかもその時に検討するようにしております。

(参加者)

子どもの事を一番に考えた時に、1桁になっても存続するのか。

(町教委)

昔に比べ道路事情もよくなったが、どうしても距離的に通学時間が1時間を超す場合は、小学校は1桁であっても、保護者や地域が存続を考えるのであれば存続と考えております。児童数の減少を防ぐためにしっかり努力しなければならないと考えております。

(参加者)

計画の中身は保護者を中心に進めてもらってよいが、あの大きな建物が残ってしまうことについて、どう考えているか。建物は解体をするのか、それとも何かに活用するのかということも含めて、活用検討委員会を立ち上げて検討いただきたい。

(町教委)

町の利活用検討委員会を立ち上げて、町を挙げて検討します。現在、伊方町では人口減少対策として企業誘致を進めています。学校施設だけでなく、その他の施設も含めて利活用する努力をしています。

(参加者)

統合までに利活用のある程度の道筋がつけられるという事か。

(町教委)

道筋がつけられたら一番いいのですが、中々うまく行かない現状もあります。

(参加者)

跡地の活用検討委員会を立ち上げて、みんなの話し合いの場を設けていただきたい。

(町教委)

そういう話ができる場を設けて、地区の要望をよく聞き、考えていかなければならないと思っています。地域の皆様もお力をお貸してください。

(町教委)

合同準備委員会の構成について、過去の例では関係区長に参画いただいておりますが、今回の場合は12地区になるので、九町地区の代表、二見地区の代表に参画いただくということで事でよいでしょうか。

(参加者)

それでよい。

(町教育委員会)

それでは、統合準備委員会の設置についての承諾書を9月いっぱいということでよろしいでしょうか。

(参加者)

長くはいらない。地域行事などもある。8月いっぱいでもいい。

(町教委)

分かりました。8月を越えてもかまいませんので、よろしくお願いいたします。